



## ヒロシマの校庭から届いた絵

広島原爆の爆心地に近い小学校の児童が被爆2年後、米国の教会から届けられた学用品のお礼に、絵画や書道作品を送ったエピソードが、記録映画「ヒロシマの校庭から届いた絵」になった。26日に広島市で試写版が関係者に公開された。制作者で重藤マナーレ静美さん(62)は「米国在住」は「日米の宝物になるような映画にしたい」と話し、最終版の制作を進めている。

### 爆心地 児童が描き米から里帰り

る。47年、米ワシントン  
のオール・ソウルズ・ユ  
ニテリアン教会が、広島  
の子どもたちを支援しよ  
うと、広島市立本川小な  
どに鉛筆や画用紙などを  
届けた。

### 広島 来月1日、記録映画上映

映画祭出品を目指す。8

重藤さんは06年、教会  
を訪れて偶然、子どもた  
ちの作品が保管されてい  
るのを知った。「この小さ  
な交流が平和の窓口だ」  
と映画化を決め、同11月

月1日午後5時と同7時  
15分の2回、広島原爆資  
料館で特別試写会を開催  
する。実行委員会事務局  
(090・4651・4  
744)。

【寺岡俊】

から本格的な撮影に入っ  
た。10年夏、広島に書画  
48点が里帰りし、本川小  
で展示会が催された。

映画は、本川小に絵が  
戻り、当時の児童たちと  
「再会」するまでを追っ  
た。13年春にカンヌ国際